

# 運営推進会議録

会議名	第 1 回	日時	令和 1 年 10 月 4 日
	運営推進会議	場所	もみの樹園 1階相談会議室
議題	地域特性とニーズ、同業者との情報共有について	出席者	利用者代表 1名 利用者家族代表 1名 町内会代表 1名 高齢者総合相談センター 1名 地域密着型サービスに知見の有る者 近隣デイサービス管理者4名(1名所用により欠席)  もみの樹園施設長 事務長 管理者 相談員  計11名

項目	内容
1	平成29年6月に通常規模事業所として開設しました。デイサービスは令和1年5月より地域事情から新宿区民を対象とした地域密着型通所介護事業所となりました。また、この2年間で近隣の事業所が2件閉鎖しました。運動系のデイサービスが2か所閉鎖する事によって、行き場を無くす利用者が多くいらっしゃいました。
2	落合地区の運動のデイサービス4件の管理者にお声掛けをして、同じような運営形態ではあるがそれぞれに特色がある。利用者が自由に選べるような環境ではあるが、お互いの事業所が横の繋がりの中でお互いに利用者を紹介できるようにする事を理想としていく事を確認する。
3	ご利用者の中にも町内会の会員が多くいらっしゃいます。約80名の会員が近隣の小学校と一緒に餅つきや、交通安全運動等の活動を活発に行っています。
4	開設の相談にお見えになって、地域のニーズや特性をお話しし、現在その通りのデイサービスになっています。社会福祉法人は地域貢献に重きを置きつつ、地域の中心となる得る施設特性の複合施設の強みを活かして欲しい。入浴も需要が高い、お食事サービスの提供などもお話をしました。地域包括は、総合相談窓口なので健康問題も必須になり、地域福祉のニーズの突破口として運動を足掛かりに支援をしていく方向でお話ししました。もみの樹園さんはデイサービスとして熱心に運営されています。認知症が重たい方、癌末期の方などの難しいケースにもトライしてくれています。最近の特徴としてデイサービスの経営は難しくなっているのではないかと事業者間の情報共有、連携が大事になると思います。
項目	次回検討事項
1	食事のニーズとして「お弁当」を持ち帰れないかとの要望がある。当園の協力業者を通じて検討していく。
2	具体的な事業者連携の取り組みとして、それぞれの事業所のパンフレットを各事業所に配置してはどうか。
3	次回開催は令和2年2月頃を予定する。